

付 米国政府のソ連邦政府承認関係

300

昭和8年1月27日 在米国出淵大使より
内田外務大臣宛(電報)

ルーズベルト新政権でのソ連邦政府承認問題

の進捗に関する観測について

ワシントン 1月27日後発

本 省 1月28日前着

第六五號

「ルーズベルト」大統領就任ノ上ハ豫テ「ボラー」一派及
民間實業家ノ一部ニ於テ唱道シ居ル勞農政府承認問題進捗
ヲ看ルニ至ルヘシトノ觀察廣ク行ハレ居ル處二十六日本使
想意ニシ居ル一民主黨上院議員ト面談ノ際彼ハ承認問題ニ
言及シ從來「ロ」ハ多クノ問題ニ付民主黨ト同一ノ行動ヲ
執リ來レル共和黨進歩派ヨリ今後一般ノ支持ヲ受ケル必要
上承認問題ニ付彼等ノ意向ヲ迎フル爲既ニ其一部ニ對シ成
ル可ク速ニ勞農政府ヲ承認スルコトヲ内々約束シタル事實
アリ尙其方法トシテハ條約ノ締結ハ上院三分ノ二ノ承認ヲ
得ル必要アリテ頗ル困難ナルニ顧ミ上院過半數ノ同意ヲ得

露ヨリ壽府聯盟、在歐洲各大使ヘ轉電アリタシ
モ右何等御参考迄不取敢聞込ミノ儘電報ス
露ヘ轉電セリ

301 昭和8年3月1日 在米国出淵大使より
内田外務大臣宛(電報)

米国のソ連邦政府承認問題と日本との関係に
関する米国有識者発言振りについて

ワシントン 3月1日後発

本 省 3月4日前着

第一六七號(書信電報)

曩ニ「ウォルター・リップマン」ハ紐育「ヘラルド・トリ

期ハ新政府就任直後力最モ適當ナリ何トナレハ政府ノ更迭

ヲ機會ニシテ行ヘハ日本ニ餘リ大ナル懸念ヲ起サセスシテ
對露政策ヲ變更シ得可キヲ以テナリト論シタルカ最近紐育
市「ナショナル・リパブリカン」俱樂部ニ於ケル露國承認
問題討論會ノ席上紐育州選出共和黨下院議員「ハミルトン・
フィッシュ」ハ露國承認ハ有利ナリト論スル者有ルモ日本
トノ間ニ悶著ノ起ル事有ル可キニ鑑ミ余ハ斯ル危險ナル提
案ヲ極力排斥スル者ナリ米國民ハ日本ト戰爭ヲ爲スヲ欲セ
ス露國ヲ承認シテ態々日本ノ反感ヲ唆ルハ反對ナリ滿洲ヲ
監視セント試ムル事ヲ早ク止ムレハ止ムル程世界平和ノ爲
ニナル可シ日本ト戰爭シ何等得ル所無シ我國務省ノ愚劣ナ
ル「ノート・ライチング・ポリシー」ノ繼續、經濟封鎖ノ
威嚇又ハ露國承認ニ依リ之レ以上日本ノ對米反感ヲ刺戟ス
ルハ反對ナリト述ヘ之ニ對シ「ボルチモア サン」莫斯
科特派員タリシ「ルイス・フィッシュ」ハ「スチムソン」
ノ不承認主義ヲ生カシ得ルモノハ露國トノ正規ノ外交關係
設定有ルノミナリトテ承認贊成論ヲ爲セリ

ス大統領ノ權限ニ於テ直ニ決行シ得ル大使ノ任命派遣ニ依
ラントスル意向ナリ尤モ勞農政府承認ニ對シテハ國內各方面
ニ強硬ナル反對アリ殊ニ二千萬ノ「キヤトリック」信者
ハ相當強ク攻撃スヘキ形勢ナルヲ以テ「ロ」ニ於テモ右承
認政行ニ付キテハ時期其他ニ關シ細心ノ注意ヲ拂フヘシ云々
ト極内密ノ話トシテ語レリ
本問題ニ付テハ特ニ注意ヲ拂ヒ居ルニ付追々報告致スヘキ
モ右何等御参考迄不取敢聞込ミノ儘電報ス
露ヘ轉電セリ

302 昭和8年4月15日 在米国出淵大使より
内田外務大臣宛(電報)

ワシントン 4月15日前発

本 省 4月15日後着

米国議会におけるソ連邦政府承認賛成・反対

兩派の應酬振りについて

ワシントン 4月15日前発

本 省 4月15日後着

第三三六號

往電第二八七號ニ關シ

(一)目下米國政府ハ國際經濟會議乃至諸般ノ國內問題ニ忙シ
ク露國政府承認問題ノ如キ前途遼遠ノ感有ル處民間ニ於
ケル承認運動ハ相當行ハレ居ル模様ニテ十二日上院本會
議ニ於ケル承認問題ノ論議ノ如キ其ノ反映トモ目セラル
同日共和黨議員「ロビンソン」ハ特ニ本問題ニ付發言ヲ
求メ最近露國承認ノ宣傳頗ル盛シナルカ米國力未曾有ノ
難關ニ遭遇シ居ル此ノ際斯ル問題ヲ考慮スルノ適當ナラ
サルハ勿論ナルカ露國ヲ承認セル國力孰レモ苦キ經驗ヲ
嘗メタルニ鑑ミルモ承認自體ニ何ノ利益有リヤトテ長々
反對演説ヲ爲シタルカ之ニ對シ承認贊成決議案ノ提出者
タル「ボラー」ハ露國ヲ承認セル國ハ孰レモ次第ニ同國

ト通商協定ヲ擴張シ居り現下ノ英露紛争モ結局ハ「兩國間

通商ノ擴張ニ終ル可ク又日本首相モ先般公ノ「ステイト

メント」中ニ於テ承認以來兩國ノ關係ハ全然満足ナルモ

ノ有リト述ヘ居レルニ非スヤ世界ノ六分ノ一ヲ占メ一億

六千萬ノ民衆ヲ有スル露國ヲ無視シテ世界ノ平和、軍縮、

經濟復興ヲ期シ得ヘキヤト反駁シ相當一般ノ注意ヲ惹キ

タリ

(二) 承認問題ニ關シ十三日「ニューヨーク、ヘラルド、トリ

ビュン」ハ社説ニ於テ左ノ通論シタリ

現下ノ「ソヴィエト」聯邦ノ國際的地位ハ過去數年ニ無ク薄弱ナルニ拘ラス同國ハ米國ノ承認ヲ贏チ得ルニ絶好ノ機會ヲ有シ居レリ然ルニ同國ハ此ノ機會ヲ利用スル事極メテ拙劣ニシテ米國力承認ト交換ニ何ヲ要求スヘキヤヲ理解セス民主黨政府就任後數旬ヲ經タルモ未タ承認問題ノ公ニ議セラルヲ見ス「クレムリン」ノ連中ハ不覺ニモ懸念ノ色ヲ示シ松岡氏、國務長官ノ會談力承認問題ニ惡影響ヲ與ヘタルモノナリ等途方モ無キ報道ヲ莫斯科新聞ニ掲ケシメタルハ如何ニ彼等カ承認問題ニ對スル米國ノ態度ヲ誤認シ居ルカヲ示スモノナリ

露へ轉電セリ

303 昭和8年4月19日 在米国出席大使(より)

内田外務大臣宛(電報)

米國有識者のソ連邦政府承認反対意見について

ワシントン 4月19日後発

本 省 4月20日後着

第三四七號

十八日當地ニ於テ米國在郷軍人會主催ノ下ニ露國承認反對演說會催サレ全國百五十ノ愛國勞働友愛各種團体ノ代表者數千名出席シ下院外交委員「フレツシユ」華府「ジョーデタウン」大學副總長「ウォルシユ」米國勞働聯盟會長「グリーン」米國在郷軍人會長「ジョンソン」等ノ演說アリ又「ウイルソン」時代ノ國務長官「コルビー」ノ書翰朗讀セラレタルカ「ファイツシユ」カ目下「モーレイ」國務次官補ハ露國承認問題ヲ研究中ニテ頻ニ承認ノ有利ナル根據ヲ求メ居レルカ茲八週間内ニ成功セハ大統領ハ非公式ニ露國政府ヘ「アプローチ」スル模様ナリ乍併米國民ハ「ショーン」「アインスタイン」等ノ共產政治謳歌ニ迷ハサルヘカラス

露國ヲ承認シ我カ工業都市農業地帶及南部ノ黒人階級ニ共產「インタークショナル」ノ勢力扶殖ヲ見ルハ堪ヘル處ニ

非スト述ヘ「ウォルシユ」カ「アルフレッド」「スマス」

「ボラ」「ショー」等ノ承認贊成意見ヲ反駁シ第三「イ

ンターナショナル」ノ危險ヲ力説シ「グリーン」カ米國ノ

民主政体ヲ擁護スルハ對露貿易上ノ利益ヲ計ルヨリモ重大

ナルカ一体露國ヲ承認シ對露貿易増加スヘントノ議論ニ根

據アリヤト述ヘ又「コルビー」カ書翰中ニ於テ元來米國カ

露國承認ヲ拒ミタルハ債務ノ不履行共產政体等ニハ關係ナク勞農露國カ文明ノ敵タル事實ニ依レリト述ヘタル點注意ヲ惹キタリ

右演説會ハ此ノ種ノモノトシテハ近來ニナキ盛會ニテ其ノ主要演説ハ全國的ニ放送セラレタルカ「ソヴィエト聯邦友ノ會」華府支部ナルモノハ早速聲明書ヲ出シ前記演説者ハ

何レモ米國共產黨ト露國政府トヲ混同シ居リトテ種々反駁ヲ加ヘタルモ何分前記演説者ハ有力ナル團体ヲ網羅セルコトトテ世間一般ヘノ反響ハ比較ニナラサル模様ナリ

~~~~~

304 昭和8年6月26日 在米国出席大使(より)  
ロンドン国際経済會議全權大使(電報)

#### ソ連邦政府正式承認を希望する米國議会筋の

動向について

ワシントン 6月26日後発

ロンドン 6月27日前着

合第二八八號

往電第五八八号ニ関シ

廿四日「ネブラスカ」選出共和黨進歩派ノ上院議員Norrisハ声明書ヲ出シ確カナル筋ヨリ聞ク所ニヨレバ露國政府ハ

米國市場ニ於テ「ミートプロダクツ」一千万弗「コットン」百万「ベールス」機械類四億弗購入ノ意向ニテ其ノ支拂ハ

數年間ニ一部ハ現物ヲ以テ一部ハ現金ヲ以テナサンコトヲ希望シ居リ旁政府ハ宜シク從来ノ對露態度ヲ改メ正規ノ國交ヲ開キ對露輸出ノ増進ヲ圖ルベシト主張シ同時ニ United States Board of Trade (曩ニ「フェデラルトレードコムニシシヨン」ノ議長タリシ Charles Hunt 會長タリ理事中

「Rudolph Spreckels」前紐育選出共和黨下院議員 La Guardia 等アリ最近農業調整部ノ特別顧問ニ挙げラレ頻リ

二対露輸出ノ増進ヲ策シ居ル現上院議員 Brookhart モ顧問ノ一人タリモ労農政府ト完全ナル外交関係ニ入り現在ノ不自然ナル対露関係ヲ清算セソコトヲ大統領ニ請願スル趣旨ノ決議ヲナシタリ右ハ目下華府ニ於テ R.F.C Amtorg 間ニ商談進行シ又倫敦ニ於テ「バリット」「リトヴィノフ」間ニ非公式ノ話合行ハレ居ル折柄一般ノ注意ヲ惹キ殊ニ「ローズヴェルト」ト接近シ居ル共和党進歩派ノ一人タル「ノリス」ノ声明ハ政府ノ意向ヲ傳フルモノナリトモ評セラレ重視セラレツツアリ又有力ナル上院民主党議員「マツケナー」ハ露國承認ノ上ハ毎年少ク共百万「ペールス」ノ「コットン」ヲ露國へ輸出シ得ベク上院ハ政府ノ駐露大使任命ヲ大多数ヲ以テ承認スル形勢ニアリト新聞記者ニ語り居リ旁々承認問題ニ付テハ種々雜多ナル報道現ハレ一般ニ「バリット」「リトヴィノフ」ノ接觸ニ重キヲ置ク傾向アリ廿六日「ボルテモアサン」ノ如キ華府通信トシテ承認ハ茲數週間ノ問題ト信ゼラレ「バリット」最初ノ駐露大使トナルニ非ズヤト取沙汰セラルトサヘ報ジ同人ガ特ニ必要モナキニ special assistant to Secretary of State 任命セラレタルコト「ウイルソン」時代ニ露國ヲ視察シタルコト其

転電したものである。

305 昭和8年7月3日 在米国出淵大使より

内田外務大臣宛(電報)

### 米国復興金融会社のソ連側商社への綿花輸出

〔〕係わる信用供与成立と米国のソ連邦政府承

認問題との関係について

ワシントン 7月3日後発  
本 省 7月4日後着

第六〇六號

往電第五六〇號ニ關シ

豫々 R、F、C 「アムトルグ」間ニ交渉中ナリソ綿花輸出ニ關スル信用供與ノ件ハ倫敦ニ於ケル米露兩國側殊ニ「モーレー」「リトヴィノフ」間ノ意見交換ニ依リ促進セラレ最近交渉成立セル趣ヲ以テ二日R、F、C委員長「ヂョーンズ」ヨリ差當リ左ノ通發表アリタリ

一、R、F、C、ハ大統領及大藏長官ノ承認ヲ得愈棉花六萬乃至八萬「ペール」對露輸出ノ爲米國輸出業者ヘ金融ヲ爲シ得ルコトトナリ

他露國ト因縁アルコト等ヲ指摘シタルガ最近華府「スター」ハ消息通ノ意見ニヨレバ少ク共倫敦経済會議ノ終了前ニハ政府ハ承認ノ「ステップ」ヲトラザルベントノコトナリト報ジ從来承認贊成ニ傾キ居ル華府「ヘラルド」モ議會ニ於ケル政府「スポーツマン」ノ言ニ依レバ駐露大使ノ任命ハ今秋遲クモ來年一月議會再開早々行ハルベントノ意見ヲ有スル趣ナリト報ジ又紐育「タイムス」ハ相當確ナル情報ニヨレバ此ノ秋又ハ秋ノ初ニ米露兩國ノ派遣員ガ歐洲ノ一都市ニ會合シ出来ル丈「バブリシティ」ヲ避ケ承認ヲ話合フコトトナル模様ナリト報ジ之ヲ要スルニ急速ナル米露ノ外交関係回復ノ可能性ヲ傳フルモノ少ク「バリット」ガ最初ノ大使タルベントノ取沙汰ニ至リテハ之ヲ疑問視スル向相当多シ

編注 本電は、在米国出淵大使より内田外務大臣宛電報第五九二号を同大使がロンドン国際経済會議全権宛に

経済全権、露ヘ轉電セリ全権ヨリ除露土欧大ヘ郵報アリ度可ク從テ R、F、Cヨリ供與スル信用總額ハ輸出棉花總價格ノ七割見當(約四百萬弗)トナル可ク

三、「アムトルグ」ハ積出ノ際代金ノ三割ヲ現金ニテ支拂フ可ク從テ R、F、Cヨリ供與スル信用總額ハ輸出棉花總價格ノ七割見當(約四百萬弗)トナル可ク  
(「テキサス」)及「ヂョージ、マクフアデン」(「ファーラデルフィヤ」)ノ二商會之ニ當リ相當ノ分量ヲ七月中ニ積出ヲ了スル見込ナリ今回ノ信用供與ハ綿花ニ限ラレ其數量又比較的少額ナルモ之力切掛トナリテ他ノ農產物殊ニ農具ノ輸出ニ付テモ行ハル模様ナリト報セラレ農具ニ付テハ露國側ニ於テ信用ヲ得次第相當多量輸入ノ意向ヲ有シ米國當局ニ於テモスル物品ノ輸出ニ迄 R、F、Cノ信用ヲ擴張シ得ルヤ目下折角考究中ナリトノ事ニテ米國政府ノコトナレハ或ハ R、F、Cノ定款ヲ極ク廣義ニ解釋シ「アグリカルチユラル、インプリメンツ」ノ輸出ニ對シテモ信用ヲ與フルコトスルヤモ計ラレストノ

説アリ米國政府ノ機關力對露輸出信用供與ニ乘出セルハ

大戰以來始メテノコトナル處曩ニ支那ノ場合ハ直接南京  
政府ニ信用ヲ與ヘタルモ今回ハ露國政府ヲ承認シ居ラサ  
ル關係上直接同政府へ信用ヲ與フル譯ニモ行カス從テ米  
國輸出業者ニ與フル形式ヲ採リタル次第ナリ斯クテ本件  
ハ承認問題トハ關係ナク政府筋ニ於テモ其ノ點ヲ強調ハ  
シ居ルモ事實ハ米國政府カ露國政府へ信用ヲ與ヘタルモ  
ノト同様ニテ承認ナル形式行爲ハ暫ク後廻シトシ徐々ニ  
實效ヲ納メントスル意向ノ現レナリトテ注意ヲ惹キツツ  
アリ

經濟全權、露ヘ轉電シ在米各館へ郵送セリ

306

昭和8年7月9日 在米国出淵大使より  
ロンドン國際經濟會議全權宛(電報)

米國議会筋および平和團體などの動向に鑑み

米國のソ連邦政府承認は近いとの觀測について

ワシントン 7月9日後發  
ロンドン 7月10日前着

合第二九四號

如ク相当近キ将来ニ於テ或ハ九月頃ニモ或種ノ代表者ヲ  
入露セシメ差當リ通商事務ヲ執ラシムル事トナル模様ニ

テ之カ決定上政府ハ「モーレー」ノ帰朝ヲ待チ居レリト  
云フ唯前記代表者ノ具体的ニ如何ナル性質ノモノタルヘ

キヤニ付種々ノ觀測アリ或ハ曩ニ「クーパー」ヨリ「スマ  
チムソン」ニ提案シタル如ク通商關係ヲ處理スル一種ノ  
「シユーパーコンソル」タルヘキ「ハイ、コンミツショ

ナー」ナラント云ヒ(紐育選出民主党中央院議員 Shirovish)

計ラリスト云ヒ(紐育選出民主党中央院議員 Steinhardt)及  
美業界ノ各代表ヨリナル「コンミツティー」ナルヤモ

区々ナルモ何レモ正規ノ大使交換迄ノ暫定的性質ノモノ  
タルヘシト云フ点ハ一致ス

三、承認問題ト並行シ對露通商促進案力灑リニ話題トナリ居

ル處最近ノR、F、C、ノ對露輸出金融ハホンノ手初メ

ニテ棉花以外ノ種々ノ物品ニ付テモ信用供與案具体化ス  
ヘシト専ラ傳ヘラレ貿易促進案トシテハR、F、C、ノ  
如ク政府融資ノ下ニ資本金四億乃至五億弗ノ一大会社ヲ  
設立シ之ヲシテ對露輸出金融ヲナシムルト共ニ國內物  
價ニ不利ナル変動ヲ生セサル様露國品ノ米國市場進出ヲ

往電第五九二号ニ関シ

一、「ノリス」ノ露國承認賛成声明書發表以来下院議長「レ  
イネー」民主党下院々内總務「バーンズ」等ノ賛成意見

報セラレ有力ナル平和團體「アメリカン、ファウンデイ  
ション」ハ全國的ニ承認ノ氣運興レルニ鑑ミ「コミニティ

オン、ロシャン、アメリカン、リレイションズ」(顏  
觸中ニハ「モーガン」商會ノ「ラモント」、「ヂエネラ

ル・モータース、エクスピート、カンパニー」ノ  
「ムーニー」、Dnieprostroj 設計者「クーパー」等ア  
リ)ヲ指揮シ承認ノ對露貿易ニ及ス影響ヲ調查スル傍各

方面へ正確ナル露國關係情報ヲ供給スルコト、ナレル旨  
ヲ發表シ最近ニハ瑞典公使トナレル Steinhardt 起任前

大統領ニ面会シ特ニ露國承認問題ニ注意スヘキ旨訓令ヲ  
受ケタルヤノ報アリ彼我相照應シテ米露ノ国交回復切迫  
セルヤノ印象ヲ一般ニ与ヘ居ルハ事實ナリ

二、然ルニ政府筋ニ於テハ例ニ依リ一切本問題ニ付説明ヲ加  
フルヲ避ケ萬事ハ大統領力一人呑込居ルヤノ感アル處最  
近現ハレタル各種ノ報道ヲ綜合スルニ今トナリテハ露國  
ノ正式承認ハ唯時期及方法ノ問題タルニ過ギサルモノ、  
ノ正規ノ大使交換迄ノ暫定的性質ノモノ、

調節セシムルノ案其ノ筋ノ考慮ニ上リ居ル趣ナリ  
經濟全權及露ヘ轉電セリ

編注 本電は、在米国出淵大使より内田外務大臣宛電報第

六二二号を同大使がロンドン國際經濟會議全權宛に  
転電したものである。

307 昭和8年9月23日 在米国出淵大使より  
広田外務大臣宛(電報)

大統領がソ連邦政府正式承認問題を考慮中との  
國務長官發言について

ワシントン 9月23日後發  
本省 9月24日前着

第七一七號

曩ニR、F、C、ト「アムトルグ」トノ間ニ五千萬乃至七  
千五百萬弗ノ第二次輸出信用供與方ノ交渉相當進展セルコ  
ト公ニセラレテ以來新聞紙上ニハ農業信用局長官 Morgen-  
theau Jr. カ大統領ノ意ヲ受ケ前記信用交渉ヲ含ム一切ノ  
對露取引交渉ヲ指導スルコトトナリタル事實ニ關聯シ對露

債權約六億五千八百萬弗ノ處理等ニ關スル交渉近ク開始セラルヘシトカ又正式承認ハ來ル十一月一日迄ニ行ハルヘシトカノ承認近キヲ想像セル様々ノ報道行ハレ居ル處二十一日國務長官ハ新聞會見ノ際大統領カ正式承認ノ問題ヲ考慮中ナルハ事實ナルモ何時決定ヲ與フルヤハ不明ナリ又目下進行中ノ對露通商促進ノ計畫ハ承認問題トハ關係ナシト語リ尙一、二消息通ハ新聞カ騒キ立ツルハ每々ノコトナルカ目下國內經濟ノ建直シ等種々重要問題輻輳シ居ルコトニモアリ恐ラク正式承認ノ實行ハ來年一月議會開會後トナラント觀居レリ

308 昭和8年11月(1)日 在米国出淵大使より

広田外務大臣宛(電報)

#### リトヴィノフの訪米と米国のソ連邦政府承認

##### 問題との關係について

ワシントン

発

本 省 11月1日前着

一、「リトヴィノフ」一行十一月六七日頃來華ノ豫定ニテ國

第七七九號

昭和8年11月(1)日 在米国出淵大使より  
広田外務大臣宛(電報)

##### 問題との關係について

ワシントン

発

本 省 11月1日前着

二、輿論ノ動向モ概シテ前記ノ形勢ヲ支持スル感有リ今夏露都ヲ訪レ歸來セル加州選出民主黨上院議員 Mc Adoo 去ル廿六日紐育著ト共ニ記者團ニ對シ對露承認ハ通商促進ノ見地ヨリ豫々贊成シ居ル所ナルカ日本ニ對抗スル趣旨ニテ米露間ニ何等話合ヲ付クルコトハ反對ナリトノ趣旨ヲ語リ時節柄 Mc Adoo 承認ニ贊成スト書立テラレ又「アメリカン、ファンデーション」主催米露關係委員會(「ラモント」等ノ有力實業家ヲ含ム)モ最近全國千百

三十九ノ日刊新聞ニ對シ債務等ノ懸案解決ノ爲引續キ交渉ヲ開始スル約束ノ下ニ此ノ際外交關係ヲ樹立スルニ贊成ナリヤ否ヤ照會シタルニ無條件贊成ヲ表セルモノ七百十八、債務、宣傳等ノ解決ヲ條件トシ贊成セルモノ(事實上ハ反對ト看做サルモノ)廿九、主トシテ赤化宣傳ノ危險ヲ理由トシ反對セルモノ三百六、贊否ノ表明ヲ避ケタルモノ七十九、回答セサルモノ七ノ結果ヲ得タル旨去ル廿九日發表セラレ是亦米國新聞ノ過半數無條件承認ニ贊成スト書立テラレ注意ヲ惹キタリ尙議員中ニモ承認反對論者有ルモ今日ノ大勢ニテハ其ノ反對モ効果無カルヘキハ彼等モ承知シ居レリト言フ者有リ尤モ米國新聞中ニ赤化宣傳ヲ問題トシ對露接近ニ反對スル者今猶相當ノ數ニ達スル點一部ノ注意ヲ惹キ居レリ

309 昭和8年11月17日 在米国出淵大使より  
広田外務大臣宛(電報)

#### 米国はソ連邦政府と正規の外交關係を樹立す

##### 部長申越しについて

ワシントン 11月17日後発  
本 省 11月18日前着

(<sup>①</sup>)第八二二號(大至急、極秘)  
十七日午後四時半極東部長「ホーリベック」本使ヲ來訪シ十六日附ヲ以テ大統領ヨリ「リトヴィノフ」ニ對シ今回ノ會談ノ結果米國政府ハ露國政府ト正規ノ外交關係ヲ樹立シ大使ヲ交換スル事ニ決シタル旨申送リ關係公文唯今「ホワイト、ハウス」ニ於テ發表セラレタル事ヲ告ケ同時ニ非公式ニ右寫ヲ手交スルト共ニ先般來新聞紙上ニ今回ノ會談中「リトヴィノフ」ヨリ大統領ニ對シ極東問題ニ關シ提案スル所有リタルヤノ噂ヲ傳ヘタル向有ルモ事實今回ハ極東問題ニ付何等會談スル所無カリシニ付右特ニ御耳ニ達シ置キ度シト述ヘ右ノ次第ハ絕對ニ外部ニ漏ルルコト無キ様特ニ御配慮ヲ願度旨申添ヘタリ委細後電ス  
英、紐育へ轉電セリ  
英ヨリ全權、在歐洲各大使へ轉電アリ度シ

310 昭和8年11月18日 在ニュー・ヨーク堀内總領事より  
広田外務大臣宛(電報)

務省ニテハ「ムーア」國務次官補、Bullitt 國務長官特別輔佐官、Feis 國務省經濟顧問等中心トナリ農、商務省RFC 等ノ關係官之ニ加ハリ連日交渉準備ノ打合セヲ爲シ居ル模様ナルカ來ルヘキ大統領「リトヴィノフ」ノ會談ハ通商事項カ主トナリ信用供與問題等ニ付大体ノ目鼻付キ次第外交關係ノ回復カ行ハレ債務等ノ問題ハ専後ノ交渉ニ委ネラルル形勢益々顯著ナルモノ有リ尙「リトヴィノフ」トシテハ大統領トノ會談ノ最初ニ承認ノ意図ヲ確メ確實ナル言質ヲ得タル上ニテ爾餘ノ諸問題ヲ談合セント努ムヘキモ大統領カ之ニ應スルヤ否ヤハ不明ナリト報セラル

## 米国のソ連邦政府承認に関する米国各紙報道

### 振りについて

ニュー・ヨーク 11月18日後発  
本省 11月19日前着

### 第二六一號

十七、八日ノ當地方諸新聞ハ米國ノ蘇聯邦承認ニ關スル諸報道ヲ大キク掲載シ又各紙競テ米蘇貿易増大ノ可能性ニ關スル記事ヲ掲ケタルカ其ノ社説ハ赤化宣傳禁止其他ニ關スル協定ノ成立ニ満足シテ一般ニ承認ヲ歡迎スルト共ニ右ハ既定方針ノ實現ニ過キストシ其ノ論調平靜ヲ保チ居レリ其ノ中十八日ノ「ポスト」ハ右承認ノ結果米蘇貿易ハ當然直ニ増進スヘキ筈ナルモ専大ナル增加ヲ見ルヘキヤ不明ナリ兎モ角一般的ニ見テ兩國間ニ正常關係恢復シ双方ノ利益トナルコト望マント述ヘ「ワールド、テレグラム」ハ承認ニ

關スル大統領「リトヴィノフ」間往復書翰中ノ兩國ハ今後

双方ノ利益及世界平和維持ノ爲ニ協力スヘシトノ一節ハ世界的ニ見テ信用供與其ノ他ノ問題ヨリ數倍重大ナル意義ヲ

在米各館ニ郵送ス

英ニ轉電シ英ヨリ露ニ轉電セシメ在歐各大使ニ郵報セシム

此ノ制度ヲ訂正スルノ必要モアルヲ以テ米蘇貿易促進ニハ多少ノ難關アリ而シテ右ノ貿易ハ供與セラルヘキ信用ノ性質上双方ニ於テ政府ニ依ル廣範圍ノ統制ヲ受クルニ至ルヘキカ米國政府ハ貿易品目ヲ出來得ル限り増進スルコト得策ナリト論セリ

## 七 日ソ外交關係

### 1 一般問題

311 昭和8年1月11日 内田外務大臣より  
在ソ連邦大使宛(電報)

共産党中央委員会におけるスターリン演説中

日本関係部分の詳細につき回示方訓令

本省 1月11日後6時発

第七號  
十日貴地堯聯合通信ニ依レハ「スターリン」ハ党中央委員

312 昭和8年2月3日 在ソ連邦大使より  
内田外務大臣宛

日本がソ連邦に対し挑発的とのモロトフ演説

に関するカラハンとの往復書簡について

機密公第四九號 (3月20日接受)

昭和八年二月三日

在「ソヴィエト」聯邦

会及中央監督委員会々議ニ於ケル演説中ニ於テ五年計畫ノ一般「プログラム」ハ六「パーセント」ダケ完成シ得サリ

シ處右ハ近隣國(複數)ノ不侵略條約締結拒否ト極東ニ於ケル紛争ニ顧ミ吾人カ豫定ノ生産ヲ多少変更シ吾人ノ防禦

力ヲ増加スル爲最新式ノ武器ヲ生産セサルヲ得サリシコトニ其ノ原因ヲ存セリ云々ト述ヘ居ル箇所アル處本件演説中右ノ矣其他我國ニ直接間接觸レ居ル矣ニ関シテハ演説原文

本件ニ關シテハ概要電報シ置キタル處右往復書簡寫及譯文茲ニ送付ス尙右ニ關スル當地英文新聞掲載記事切抜御参考

迄ニ送付ス

有ス右ノ約束ハ單ナル外交的承認以上ニ兩國間ノ遠大ナル經濟的及外交的ノ協力ヲ意味ス歐洲及極東ノ平和脅威セラレ居ル今日兩國間ニ貿易増進ノ外平和促進ニ關スル協力ノ成立セルハ大イニ歡迎スヘント爲シ又「ジャーナル、オブ、コンマース」ハ承認後ニ來ルヘキ兩國貿易問題ニ關シ今後蘇聯邦ハ第二次五年計畫完成ノ爲主トシテ工業品類ヲ需要スヘク又米國ハ農業救濟ノ爲農產物ノ輸出ヲ希望スヘキヲ以テ兩國間ニハ希望品目上ノ差異アリ又米國ハ工業品ノ輸出促進ノ爲R、F、Cノ信用供與範圍ヲ工業品迄及ホス様此ノ制度ヲ訂正スルノ必要モアルヲ以テ米蘇貿易促進ニハ多少ノ難關アリ而シテ右ノ貿易ハ供與セラルヘキ信用ノ性質上双方ニ於テ政府ニ依ル廣範圍ノ統制ヲ受クルニ至ルヘキカ米國政府ハ貿易品目ヲ出來得ル限り増進スルコト得策ナリト論セリ